

令和4年度かながわの遺跡展 「縄文人の環境適応」を開催します

県教育委員会との共催により、令和4年度かながわの遺跡展を、市立博物館で開催します。縄文時代中期の終わりごろ(約4,500年前)に始まる環境変化(寒冷化)に対し、縄文人がどのように適応してきたのか、県内を中心とした遺跡からの出土品を展示し、当時の社会と文化の様子を紹介します。

期 間 令和5年2月7日(火)～3月5日(日) 休館日:毎週月曜日、2月24日(金)

開館時間 午前9時30分～午後5時

場 所 市立博物館 特別展示室(相模原市中央区高根3-1-15) **観覧無料**

関連事業 (詳細はチラシをご覧ください)

1 特別講演会「縄文時代の身体象徴と環境変化」

日時 2月19日(日)午後2時～4時

会場 市立博物館 地階 大会議室

講師 中村耕作氏

(国立歴史民俗博物館准教授)

※事前申し込み制

2 展示解説

日時 2月11日(土)、3月4日(土)

各日午前11時～11時45分、午後2時～2時45分

会場 市立博物館 地階 大会議室

※事前申し込み不要、先着順



おおがたちゅうくうどくう ぼだいよこて
大型中空土偶 秦野市菩提横手遺跡



えかがみがたしきいしじゅうきよ かわしりなかわら
柄鏡形敷石住居 相模原市緑区川尻中村遺跡



ほりのうち いなりやま
堀之内式土器 横浜市南区稲荷山貝塚



かがくこつ いなりやま
イルカの下顎骨 横浜市南区稲荷山貝塚

問い合わせ先

相模原市立博物館

担当者 長澤

電話 042-750-8030

縄文人の環境適応

令和4年度かながわの遺跡展



大形中空土偶
秦野市菩提横手遺跡出土

横浜会場

2022.12/24(土) ▶ 2023.1/29(日)
神奈川県立歴史博物館

休館日：月曜日（1月9日は開館）・12月27日（火）～1月4日（水）・10日（火）

開館時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）

観覧料：常設展示の観覧券が必要です。【（ ）内は20名以上の団体料金】

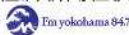
20歳以上 300円(250円) / 20歳未満・学生 200円(150円)

高校生・65歳以上 100円(100円)

※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料

※神奈川県立の美術館・博物館有料観覧券の半券提出により団体料金となります。

主催：神奈川県教育委員会・神奈川県立歴史博物館・相模原市教育委員会

後援：朝日新聞横浜総局・毎日新聞社横浜支局・読売新聞横浜支局・産経新聞社横浜総局
神奈川新聞社・東京新聞横浜支局・日本経済新聞社横浜支局・共同通信社横浜支局
時事通信社横浜総局・ラジオ日本・tvk・・NHK 横浜放送局・J:COM

◆新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、本展示及び関連イベントを中止する場合があります。
感染症対策として、入場制限を行う場合があります。

相模原会場

2023.2/7(火) ▶ 3/5(日)
相模原市立博物館

休館日：月曜日、2月24日（金）

開館時間：9時30分～17時

観覧料：無料

神奈川文化プログラム


MAG
CUL
マガカル
かながわ祭
県民文化祭

本展示に関する詳細・お問合せは、
神奈川県埋蔵文化財センターへ
Tel:045-252-8661(平日:9時～17時)



約 13,500 年間続いた縄文時代の中でも、中期（約 5,500 年前～約 4,500 年前）には、関東・中部地方において遺跡の数が最も多くなり、大規模な集落が形成されるようになります。

しかし、中期の終わり頃から後期（約 4,500 年前～約 3,300 年前）にかけて、集落は小規模かつ分散化する傾向を示します。このことは、気候の寒冷化により減少した食糧資源を効率的に獲得するためと考えられています。

環境の変化に対応しようとする縄文人の取り組みは、集落だけでなく生業や祭祀にも及び、様々な遺構や遺物の様相に見ることが出来ます。

中期から後・晩期にかけて、縄文人がどのように環境に適応するための努力をしてきたのか、当時の文化と社会の変化について明らかにします。



神奈川県秦野市稲荷木遺跡 住居址（縄文時代後期中葉）
（公益財団法人かながわ考古学財団提供）

特別講演 要事前申込

神奈川県電子申請システム又は郵送（往復はがき）でお申込みください。※応募者多数の場合には抽選
往復はがきには、希望する回・開催日・住所・氏名・電話番号を明記してください。（1枚につき1名、各回 別のはがきで申込）

第1回 気候変動と縄文集落の変遷

講師 鈴木保彦氏（元日本大学 教授）

日時 1月8日（日）14時～16時

会場 神奈川県立歴史博物館 講堂（定員 50名）

※当日の常設展観覧券が必要です。

郵送による申込先

〒232-0033 神奈川県横浜市南区中村町 3丁目 191-1
神奈川県埋蔵文化財センター

申込締切

第1回 11月30日（水）必着

第2回 12月23日（金）必着

第3回 1月30日（月）必着

詳細は神奈川県埋蔵文化財センターのホームページでご確認ください。
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ar3/cnt/f6656/>

第2回 縄文人の狩猟・漁猟と環境適応

講師 樋泉岳二氏（早稲田大学 非常勤講師）

日時 1月15日（日）14時～16時

会場 神奈川県立歴史博物館 講堂（定員 50名）

※当日の常設展観覧券が必要です。

展示解説 事前申込不要 当日先着順

各日 11時00分～11時45分 / 14時00分～14時45分

※展示室内ではなく、別室で講座形式の解説を行います。

※神奈川県立歴史博物館は、当日の常設展観覧券が必要です。

神奈川県立歴史博物館 講堂（定員 50名）

1月7日（土）・1月14日（土）・1月28日（土）

相模原市立博物館 大会議室（定員 80名）

2月11日（土）・3月4日（土）

会場案内

<横浜会場>



みなとみらい線

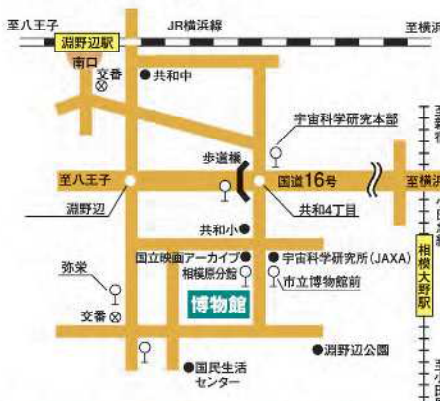
「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分
JR「桜木町駅」新南口（ICカード専用）
から徒歩5分

神奈川県立歴史博物館 Tel.:045-201-0926
横浜市中区南仲通 5-60

次回展覧会案内

松平造酒助江戸在勤日記 - 武士の絵日記 -
令和5年2月18日（土）～4月9日（日）

<相模原会場>



相模原市立博物館 Tel.:042-750-8030
相模原市中央区高根 3丁目 1-15

次回展覧会案内

新発見！さがみはらの遺跡 ※タイトルは仮称
令和5年3月18日（土）～4月16日（日）

【淵野辺駅南口から】

●徒歩 20分

●バス青葉循環博物館廻り（淵37系統）

「市立博物館」下車すぐ

●バス青葉循環共和廻り（淵36系統）

「市立博物館」下車すぐ

【相模大野駅から】

●バス相模大野駅行き（相02系統）

「宇宙科学研究本部」下車5分

【上清駅から】

●バス淵野辺駅南口行（淵52・53・59系統）

「弥栄」下車8分

【お車でお越しの場合】 無料駐車場 95台